

2025年7月16日

## HOBIA NEWS No.401

- 令和7年度総会報告
- 総会後 記念講演会の発表のまとめ

### ● 令和7年度総会報告

令和7年6月29日(日) 13時30分より14時10分 北海道大学学術交流会館小講堂  
において開催の下記議案が審議され承認されました

起案：第1号議案 令和6年度事業報告

第2号議案 令和6年度決算報告

第3号議案 令和7年度事業計画

第4号議案 令和7年度事業予算

#### [HOBIA 令和7年度総会議案書](#)

### ● 総会後 記念講演会の発表のまとめ

#### ■ 記念講演 『タンパク質のかけら、ペプチドが面白い』

藤女子大学(非常勤講師)、北海道大学名誉教授 原 博 氏

ペプチドはアミノ酸が数個から十数個結合したもので、タンパク質の部分構造でもある。摂取すると消化管での吸収が早く優れたアミノ酸供給源である。加えてペプチドはそれだけではなく、様々な独自の生理作用を持っている。本講演では、ペプチドの持つ生理作用(機能性)を4つに分類して紹介する。

ヒトの消化管では、単体のアミノ酸より、分子量も大きいペプチドの方がより早く効率的に吸収される。単体アミノ酸は、アミノ酸の種類によって吸収速度、選択性が異なるが、ペプチドは、アミノ酸配列にこだわらず速やかに吸収されるので、アミノ酸インバランスがない。そして、取り込まれたペプチドが、生体内で生理作用を発揮する例もある。消化管でのペプチドの存在には、消化酵素で分解されにくいレジスタントプロテインの摂取も効果がある。

#### 【血圧を下げるペプチド】

血圧をコントロールしているアンジオテンシンⅡ変換酵素は、特定のアミノ酸配列のペプチドで阻害され、血圧を下げるができる。この作用は、薬にも特定保健用食品にもなっている。

食品としてのペプチドなかでも難消化性のたんぱく質のペプチドが、消化管でホルモンの分泌を促進することを証明した例を紹介する。細い管(カニューレ)をネズミの消化管や、消化管から膵臓へ行く血管などに入れて、即時的に血液サンプルを分析する手法で証明した。最近話題のGLP-1は、消化管ホルモンでこれ自身もペプチドであり、これが血管内へ分泌されると血糖値上昇を抑制する。

#### 【ペプチドは筋肉での蛋白合成を促進する】

ペプチドには、吸収が早いという特徴のほかに体内での蛋白合成を強める作用もあることを証明した。アミノ酸組成をそろえた餌、すなわち大豆蛋白、その水解物、部分分解でペプチドとしての各餌をネズミに食べさせて比較した。ペプチド食を食べたネズミは、吸収だけでなく筋肉での蛋白合成が促進することを示した。

## 【満腹感を惹起するペプチド】

食品中のペプチドの新しい機能として、消化管ホルモン分泌促進を介して発揮される作用で満腹感を惹起する作用を発見した。消化管内のペプチドが、吸収されるまえに腸管内に向けて位置する受容体によって認識され、細胞の反対側から血液中に満腹ホルモンのコレシストキニン（CCK）を放出する。これが脳へ流れていって、脳で満腹感を感じられるように作用する、ことを発見した。それまで消化管の内側で受容されて血液側に異なったシグナルを出すという仕組みは知られていなかった。培養細胞での試験に加え、ネズミそして学生にも協力してもらって満腹どの試験を行って作用機構を明らかにした。

## ■ 会員講演 『(株)日立ハイテク 「知る力」で世界を、未来を変えていく』

(株)日立ハイテク 北海道支店長 平野禎雄氏 ほか

日立ハイテクは 2025 年度から「知る力で、世界を、未来を変えていく」という新たなビジョンを掲げ、社会やお客様の真の課題を正しく知り、解決策を提供し続け、持続可能な社会の実現への貢献を目指し新中期計画に取り組んでおります。



今回の発表では、弊社の主要事業であるヘルスケア、半導体、分析解析、産業社会むけソリューションの中から北海道支店で営業活動を行っている医用システム、製造管理システム、検査データ管理システムのご紹介に加え、各種産業界の身近な課題に向けたソリューション例をご紹介します。

これからも北海道の社会、お客さまの課題を知り、みなさまと協創しながら解決策の提案に取り組んでまいります。

**事業セグメント一覧**

- NANO-TECHNOLOGY SOLUTIONS**  
ナノテクノロジーソリューション  
半導体製造向けエッチング装置、計測装置・検査装置の設計・製造・販売を通じたソリューション提供
- HEALTHCARE SOLUTIONS**  
ヘルスケアソリューション  
生化学・免疫分析装置、検体検査自動化システム、キャピラリー電気泳動シーケンサー、粒子線治療システム、X線治療システムなどの設計・製造・販売。  
デジタルヘルスケア事業の展開
- CORE TECHNOLOGY SOLUTIONS**  
コアテクノロジーソリューション  
電子顕微鏡、光度計、蛍光X線分析装置、熱分析装置、液体クロマトグラフなどの設計・製造・販売
- INDUSTRIAL & SOCIAL INFRASTRUCTURE SOLUTIONS**  
産業・社会インフラソリューション  
通信インフラ、電池ライフサイクル、検査・測定装置、デジタル、半導体関連など  
産業・社会インフラ分野におけるソリューションの提供

7

© Hitachi High-Tech Corporation, 2023. All rights reserved.

## ■ 会員講演 『(株)アミノアップの健康補助食品 GMP について』

(株)アミノアップ営業部産官学連携・知財担当部長 三浦健人氏

2024年に発覚した特定の機能性表示食品を摂取した消費者に健康被害があった問題で、消費者庁は機能性表示を行うサプリメントについてはGMPに基づく製造管理を食品表示基準における届出者の遵守事項とし、届出者が自主点検をするとともに、必要な体制を整備した上で消費者庁が食品表示法に基づく立入検査等を行い、GMP実施状況の確認と助言を行うとした。

(株)アミノアップは機能性表示商品の機能性関与成分として届出公表実績のある原材料を製造・販売しているので、それらの原材料については(公財)日本健康・栄養食品協会の健康補助食品GMPの認証工場で製造している。また、品質マネジメントについてはISO9000s、食品の安全・衛生管理についてはISO22000の認証を取得している。ISO22000ではその前提条件プログラムである「一般的衛生管理プログラム」としてのGMPが組み込まれている。HACCPやGMPでは担保できない機能性食品の機能性については、ISO9001の設計・開発のプロセスの中で「機能性」を品質として位置付け機能性の科学的根拠を得ることを品質要求事項として製品開発を行なっている。また海外展開を見据えてHALALやKOSHERの第三者認証も得ている。

HOBIAのホームページ <http://www.hobia.jp>

NPO法人 北海道バイオ産業振興協会  
札幌市北区北21条西12丁目コラボ北海道内